

＜ 11月16日～30日の国内外外国為替市場動向 ＞

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/11/16 (金)	東京は揉み合い。米系ファンド損失の報道がドルの弱材料となったが輸入が下支えし、ドル下げ渋り。欧米は対米証券の悪化がドル売り要因に。しかし米株が堅調に推移したこと終盤持ち直し。	・日銀決定会合議事録要旨 ・米系ファンド巨額損失の一部報道 ・9月ユーロ圏貿易収支31億ユーロ ・9月の対米証券投資▲264億ドル、10月の米鉱工業生産▲0.5%、同設備稼働率81.7%	・米財務長官「米国は強いドル政策をとっている」 ・セントルイス連銀総裁「一段の利下げが必要か疑問」 ・キット米財務次官「米国のファンダメンタルズは強い」	110.48 111.34 109.77 111.08	161.52 163.26 160.45 162.87	寄付 安値 高値 終値
07/11/19 (月)	東京はG20声明や湾岸諸国のドルペッグ制見直し思惑からドルが買えない。ドル/円は下値を試す展開。欧米はシェリに対する投資判断引き下げを受けサブプライム懸念が再燃。円がクロスを含めて独歩高。	・G20声明「アジア貿易黒字国の為替相場柔軟性を要請」(17日) ・オリバースが英シェリラスG買収 ・GSがシェリGの投資判断を引き下げ ・11月の米NAHB住宅指数19	・UAE連邦評議会議長「米ドルへのペッグ制を見直す必要がある」 ・オーストラリア中銀総裁「急激な為替変動は望ましくない」 ・ECB総裁「世界経済、心強い水準での拡大が続いている」	110.83 111.08 109.75 109.76	162.59 163.08 160.88 160.95	寄付 安値 高値 終値
07/11/20 (火)	東京は米が金融利下げ実施の噂を好感したドル買い優勢。ドル/円は110円台を回復。欧米は東京から流れが一変。GCC高官の発言に加え、米経済指標が買えずドルの弱材料に。	・FOMC緊急会議開催の噂、同時に緊急利下げ実施の噂も ・10月の米住宅着工122.9万件 ・FOMC議事録「10月の利下げは際どい結果だった」 ・カンタリワイド破綻の噂	・UAE経済省「為替政策の変更、インフレ抑制手段のひとつ」 ・GCC高官「サウジはリールの切り上げを検討の可能性」 ・ベルギー中銀総裁「アジア通貨、とくに人民元のレベルはドル安より問題」	109.76 110.58 109.51 109.91	160.98 163.41 160.40 163.20	寄付 安値 高値 終値
07/11/21 (水)	東京はサブプライム損失の思惑台頭に加え日経平均が300円以上も下落したことを嫌気し円買い優勢。欧米で目立つのはユーロ高とポンド安。一方、サブプライム問題の払拭されていないドルは依然買にくい。	・10月の貿易黒字1兆186億円 ・一部邦銀にサブプライム損失との噂 ・BOE議事録で前回据え置きは7対2だったことが判明 ・10月の米景気先行指数▲0.5%、11月のミシガン消費者信頼感76.1	・米財務長官「モーゲーシ業界に対しローン返済条件の緩和要請」 ・OECD「米モーゲーシ関連損失額は3000億ドルに達する可能性」 ・独経済相「ユーロ高はいまのところ独輸出を抑制していない」	109.75 109.82 108.25 108.42	162.78 162.82 160.07 161.10	寄付 安値 高値 終値
07/11/22 (木)	東京は日経平均の続落を受け円買いでスタートするも株価持ち直しから為替も円売り優勢に。欧米はNY休場で動意薄。ただ調整的な円買い目立ち、クロス中心に円が小じっかり。	・第3四半期の独GDP確定値0.7% ・NY市場休場	・中村日銀審議委員「サブプライム問題の解決には時間が掛かる」 ・大田経財相「これ以上の円高が年を越えて続く心配」 ・ECB総裁「為替相場の急激な価格変動に反対」	108.35 109.18 108.29 108.45	160.96 162.25 160.85 161.05	寄付 安値 高値 終値
07/11/23 (金)	東京休場の薄商いのなかユーロ/ドルを中心としたドル売りに、対円でもドルは買えない。欧米は年末に向けた米商戦に対する期待などからドル買い優勢。ただ連銀総裁発言からユーロも強い。	・第3四半期の英GDP改定値0.7% ・東京市場休場	・ECB総裁「為替相場の急激な変動を歓迎しない」 ・独連銀総裁「信用市場が落ち着けば利上げが必要になる可能性」 ・前FRB議長「さらなる問題がここ数週間に表面化している」	108.50 108.61 107.55 108.30	161.14 161.68 159.47 160.70	寄付 安値 高値 終値
07/11/26 (月)	東京はアジアの株式をにらみ激しい値動き。ドル/円は上下に1円を超える乱高下。欧米はNYダウが200ドルを超える大きな下げ幅を記録したことドル売り優勢。金融株が株安を牽引した。	・中国投資有限責任公司による日本株投資検討、の一部報道あり ・UBSがフレディーマックなどの投資判断引き下げ ・シェリGが大規模な従業員回廊の可能性を示唆	・蘭中銀総裁「現状のユーロ高は喫緊の懸念材料ではない」 ・サマーズ元財務長官「米国はリセッション入りの可能性」 ・ハルデモエECB副総裁「ユーロ高はインフレ圧力抑制を助けている」	108.65 108.78 107.22 107.42	161.21 161.48 159.55 159.75	寄付 安値 高値 終値
07/11/27 (火)	東京はシェリGへの出資報道を好感したドル買い優勢。対円では1円を大きく超える上昇を見せた。欧米は発表された米経済指標が低調ながら米株が堅調でドル高をサポート。一時109円台へ。	・11月の月例経済報告で基調判断は ・11月の独IFO景況指数104.2 ・人民元変動幅拡大の噂 ・11月の米消費者信頼感指数87.3、同リッチモンド連銀指数0	・アブダビ投資庁がシェリGへ75億ドル出資へ ・仏中銀総裁「サブプライム関連の損失は2500億ドル前後の見通し」 ・仏大統領「日本は通貨価値を見直すべき」	107.38 109.16 107.30 108.97	159.71 161.83 159.37 161.61	寄付 安値 高値 終値
07/11/28 (水)	東京は本邦機関投資家からの利食い売りで円高に振れるも、海外勢中心のドル買い強く反発。欧米はコーン発言などドルの弱材料も見られるがこの日も米株が強く、110円台を回復して高値引け。	・香港紙「中国国务院は人民元の上昇ペースを速める必要があるとのコンセンサスに達した」 ・11月の米耐久財受注▲0.4%、10月の米中古住宅販売497万戸 ・米地区連銀報告発表される	・ユーログループ議長「人民元の上昇ペースはいまより上げる必要」 ・ECB総裁「自民銀とECB、為替問題に関する作業グループ設立へ」 ・ユンFRB副議長「先月と比べて景気下ぶれリスクが高まっている」	108.83 110.48 108.27 110.03	161.46 163.59 160.20 163.30	寄付 安値 高値 終値
07/11/29 (木)	東京は揉み合いつつも日経平均が大幅に上昇したことを受けて円は買えない。欧米は引き続きドルが小じっかり。ただ露天ガス大手に関する報道がドルの上値を抑制した。	・10月鉱工業生産1.6% ・11月の独失業率▲5.3万人 ・第3四半期の米GDP改定値4.9%、同個人消費改定値2.7%、同コアPCE価格指数改定値1.8%、10月新規住宅販売72.8万戸	・ブラチワラワ英金融政策委「英金利は今のうちに低下すべき」 ・ミシュンFRB理事「コアインフレは十分に抑制されている」 ・露天ガス大手「ループル建ての決済を検討」	109.97 110.32 109.47 109.93	163.20 163.62 161.56 162.08	寄付 安値 高値 終値
07/11/30 (金)	東京はサブプライムローンの解決が近づいているとの楽観的な見通しから円売り優勢。110円半ばへ。欧米は良好な米経済指標もあり円売り進展。ドル/円は111円台のドル高値圏で終了した。	・10月消費者物価指数0.3%、同完全失業率4.0% ・10月の米個人所得0.2%、同個人支出0.2%、同PCE価格指数コア0.2%、同建設支出▲0.8%、11月のシカゴPMI指数52.9	・FRB議長「FRBには引き続き特別な警戒と柔軟性が必要」 ・米財務長官「米政権と金融機関がサブプライム対応の合意近づく」 ・ド・ハル紙「アラブ通貨基金が湾岸諸国にペッグ制の廃止要請」	109.77 111.24 109.69 111.24	162.00 163.86 162.00 162.78	寄付 安値 高値 終値

*製作・著作「FXニュースレター」

URL; <http://www.fx-newsletter.com/>